伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート[2次評価シート]

(1)政策	コード	名称			
(1)政策	4	(4)次世代をともに育成するまちづくり			
	コード	名称			
(2)基本施策	8	①子どもを生み育てやすい環境をつくる	(3)生活課題	ı x	不安や足かせ ^か いる。

(3)生活課題 8 不安や足かせや孤立感なく、子どもを産み育てるような環境や支援が整っている。

(4)評価実施年度	平成 21 年度
(5)評価責任者職名	健康福祉部長
(6)評価責任者氏名	中出 富一
(7)評価者	

	(12)事業費(千円) (13)H22投入人員 主な成果(新規事業の)					事業の提供	>什日煙)				l	1 次型	平価結果	1		2次評価												
(9) 継続・ 新規 (.21.22, 23,24)	ド (10)事務事業名	コード	(11) 担当部課名		H21	H22 要求 見込額					り数値	1	(18) 評価 類型	(19) 必要性		小評価 		(23)	(24) 方向性	(25) 1次記 価修I 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無		(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につい て	(33)その他の改革 改善点について
継続(66 女性相談事業	130700	こども家庭課	1,882	1,908	1,908	0.3	2,160	女性相談処理 件数	414	300	件	I	4	Ş	3 :	3	4 A	現状維持	無			無		4G	С		女性に関する問題点も あり、男女共同参画課 との連携が必要であ る。
継続(ファミリーサポートセンター運営 事業	130700	こども家庭課	3,860	3,346	3,346	0.2	1,440	相互援助の実 施数	651	650	件	I	4	4	4 4	4	3 A	現状維持	無			無		3G	С		
継続(73 私立保育所補助金	130700	こども家庭課	61,154	67,525	292,525	0.2	1,440	延べ利用児数	9962	10000	人	I	4	4	4 ;	3	4 A	現状維持	無			無		1G	b	保護者ニーズに応じた 対応は必要であり、今 後も必要な経費であ る。	
継続(82 放課後児童クラブ整備事業	130700	こども家庭課	62,367	0	23,126	1.0	7,200	施設設置箇所 数	7	8	箇所	п	4	;	3 ;	3	4 A	拡大	無			無		1G	а	ニーズは高く、今後も 整備に努める必要が ある。	
継続 38	2.7 児童館事業経費	130710	健康福祉部 しろなみ児童 館	1,185	1,263	1,263	1.5	10,800	教室への参加 率	63	70) %	I	4		3 ;	3	2 B	現状維持	無			無					
継続(84 まえがわ児童館事業	70700	人権政策部い がまち人権セ ンター	2,039	2,021	2,021	2.0	14,400	各種教室の開 設数	120	250	0	I	4	3	3 ;	3	3 A	現状維持	無			無		2G	b		
継続	07 児童館事業経費	70900	青山文化セ ンター	150	170	170	0.4		活動全体の参 加児童延べ人 数	659	660	Д	I	4		3 4	4	3 A	現状維持	無			無					
継続	48 不妊治療助成事業	130900	健康福祉部健康推進課	396	650	700	0.1	720	助成申請件数	6	7	'件	I	4	4	4 4	4	4 A	現状維持	無			無		3G	С	これまでの利用実績 から、コストを多少縮 減しても成果は維持で きる。	
22新規 22	12 公立保育所整備事業	130700	こども家庭課	0	0	3,913	3.0	21,600	保育所整備実 施箇所数	_	3	箇所	п	4	4	4		4 A		無			無		2G	b		伊賀市保育所(園)あ り方検討委員会の提 言を踏まえる必要があ るが、安心・安全の面 から早急な対応が必 要である。